FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)とは、フッ素樹脂に分類される樹脂の材料です。PTFEとほぼ同等の耐薬品性。

Fluorinated Ethylene Propylene • Teflon FEP

最終更新：2026/10/30

2.15 g/cm³	25 MPa	200 °C
比重（密度）	引張強さ	最高使用温度

PVDF・ETFE・PTFEとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン) このページ	PVDF (ポリフッ化ビニリデン)	ETFE (エチレン四フッ化
引張強さ	25 MPa	50 MPa	45 MPa
線膨張係数	—	130 µm/m·K	—
最高使用温度	200 °C	—	150 °C
密度	2.15 g/cm³	1.78 g/cm³	1.7 g/cm³

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- PTFEとほぼ同等の耐薬品性
- 透明性がある
- 溶融成形可能（PTFEは不可）
- 非粘着性・低摩擦
- 電気絶縁性に優れる

主な用途

- 電線・ケーブル絶縁被覆

- 化学配管ライニング
- 半導体製造装置チューブ
- ラボ用器具

選び方

PTFEの性能が必要で、かつ射出成形したい場合に。

メリット

- PTFEに近い耐薬品性
- 射出成形可能
- 透明
- FDA対応

デメリット

- 高価
- 機械的強度低い

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	200 °C	—

物理的性質

密度	2.15 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合
fda	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)の密度（比重）は？

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)の密度（比重）は2.15 g/cm³です。

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)の引張強さは？

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)の引張強さは25 MPaです。

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)の最高使用温度は？

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)の最高使用温度は200 °Cです。

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)の主な用途は？

FEP (四フッ化エチレン六フッ化プロピレン)は、電線・ケーブル絶縁被覆、化学配管ライニング、半導体製造装置チューブなどに使われます。